

平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社建設技術研究所
 コード番号 9621 URL <http://www.ctie.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大島一哉
 (氏名) 栗田秀明

TEL 03-3668-0451

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	24,424	△0.0	1,192	16.5	1,281	16.9	608	10.4
21年12月期第3四半期	24,428	—	1,024	—	1,095	—	551	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	43.02	—
21年12月期第3四半期	38.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	35,409	19,603	55.1	1,379.79
21年12月期	29,970	19,196	63.8	1,352.78

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 19,513百万円 21年12月期 19,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	16.00	16.00
22年12月期	—	0.00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	2.0	1,200	1.6	1,300	1.4	650	3.1	45.96

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.2「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
 新規 一社 (社名)、 除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年12月期3Q	14,159,086株	21年12月期	14,159,086株
② 期末自己株式数	22年12月期3Q	16,812株	21年12月期	16,249株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	22年12月期3Q	14,142,379株	21年12月期3Q	14,144,074株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載された連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書	5
(第3四半期連結累計期間)	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、自立的回復に向けた動きも見られるものの、急速に進行した円高により企業収益が圧迫されるなど、厳しさが増しております。

当社グループの属する建設コンサルタント産業においては、公共事業関係費予算が大幅に削減されている中でも、限られた予算を効率的に執行していくための各種事業計画の見直し、地球規模での環境問題への対応、ゲリラ豪雨対策、国土交通省の国際展開をはじめとする成長戦略など、新たなビジネスチャンスが拡がりつつあります。

このような状況下において、当社はプロジェクト・マネジメントの推進や優秀な人材の確保などによる生産体制の強化とともに、国内では拡大するプロポーザル方式（技術力による選定方式）および総合評価落札方式（技術提案と価格を総合的に評価する落札方式）による発注への対応をより一層強化しました。また、海外では水資源、環境、防災、道路・交通を4本柱として取り組み、モンゴル国、ブルンジ共和国などから大型案件を受注いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループ全体の受注高は23,231百万円となり通期予想受注高の73.7%となりました。当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては24,424百万円となり通期予想売上高の76.3%となりました。当第3四半期連結累計期間の経常利益は1,281百万円となり通期予想経常利益の98.6%、当第3四半期純利益は608百万円となり通期予想当期純利益の93.6%となり、前期の好調な受注を受け、業績は堅調に推移しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は35,409百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,439百万円の増加となりました。これは主に受託料収入等による現金及び預金と有価証券の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における総負債は15,806百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,032百万円の増加となりました。これは主に未成業務受入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は19,603百万円となり、前連結会計年度末に比べ406百万円の増加となりました。これは主に当期四半期純利益によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年2月18日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一般債権に対する貸倒見積高の算定方法については、貸倒実績率に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率を使用しております。

定率法を採用している固定資産の減価償却費の算定方法については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,830	3,216
受取手形及び完成業務未収入金	556	1,403
有価証券	4,501	2,501
未成業務支出金	10,624	10,702
その他	619	826
貸倒引当金	△20	△33
流動資産合計	24,110	18,617
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,581	4,581
その他(純額)	2,473	2,626
有形固定資産合計	7,055	7,208
無形固定資産		
投資その他の資産	264	326
その他	3,988	3,828
投資損失引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	3,978	3,818
固定資産合計	11,299	11,353
資産合計	35,409	29,970
負債の部		
流動負債		
業務未払金	505	1,223
短期借入金	—	400
未払法人税等	340	234
未成業務受入金	11,804	5,698
賞与引当金	994	533
役員賞与引当金	15	47
業務損失引当金	165	104
その他	1,123	1,535
流動負債合計	14,948	9,777
固定負債		
退職給付引当金	454	479
その他	402	517
固定負債合計	857	996
負債合計	15,806	10,773

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,025	3,025
資本剰余金	4,122	4,122
利益剰余金	12,381	11,998
自己株式	△10	△10
株主資本合計	19,518	19,136
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4	△4
評価・換算差額等合計	△4	△4
少数株主持分	89	64
純資産合計	19,603	19,196
負債純資産合計	35,409	29,970

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	24,428	24,424
売上原価	18,716	18,525
売上総利益	5,712	5,898
販売費及び一般管理費	4,688	4,705
営業利益	1,024	1,192
営業外収益		
受取利息	25	18
受取配当金	16	14
受取家賃	33	34
その他	24	34
営業外収益合計	100	102
営業外費用		
支払利息	2	3
支払手数料	19	4
為替差損	5	6
その他	0	0
営業外費用合計	28	14
経常利益	1,095	1,281
特別損失		
固定資産処分損	5	0
事業所移転費用	24	—
投資有価証券評価損	15	63
その他	—	0
特別損失合計	44	64
税金等調整前四半期純利益	1,050	1,217
法人税等	481	582
少数株主利益	18	26
四半期純利益	551	608

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。